



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第 136 号
発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和 3 年12 月14日



【今月のピックアップ!】

- ① 「兵庫県職員向け手話による来庁者対応動画2」を制作しました
(一般の事業所でも活用できます)

- ② 障害者が作るお菓子コンテスト「第 13 回スイーツ甲子園」
～グランプリは「TAMBA MAGOKORO JAM」!～

【手話カフェ】

- ③ ～みんな一緒に音楽を楽しむために～
わくわくオーケストラ教室の試み

【募集・イベント】

- ④ 聴覚に障害のある方の鑑賞を字幕でサポート!
ピッコロ劇団ファミリー劇場 12/25～26
「グリム兄弟!～みんなのメルヘン きかせてダンケ～」

- ⑤ 「兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展」の
作品募集中(出品の申込 1/17まで)

【お知らせ】

- ⑥ ひょうご女性サポートホットライン～ここふれ～
誰に相談したらいいか分からず、困っていませんか?

- ⑦ 「兵庫県障害者アートギャラリー」12 月の催し

【ラジオ】

- ⑧ 「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」11 月放送内容



-
- ① 「兵庫県職員向け手話による来庁者対応動画2」を制作しました
(一般の事業所でも活用できます)
-

県は、職員一人ひとりがユニバーサルの視点をもって、質の高い県民サービスを行う「ユニバーサル県庁」をめざし、「ユニバーサル社会づくり第6次率先行動計画」を策定しています。

この度、職場にきこえない方・きこえにくい方が来られた時、簡単な手話や筆談などで適切に対応できるよう、「県職員向け手話による来庁者対応動画」の2作目をつくりました。

行政窓口だけでなく、地域団体・民間企業の受付などでもご活用いただける内容ですので、ぜひご覧ください。県インターネット放送局「ひょうごチャンネル」から「手話」と検索して下さい。

■**New!** 手話による来庁者対応動画②～手話や筆談で来庁者対応をしましょう～<https://hyogo-ch.jp/video/3386/>

■手話による来庁者対応動画①～基本的な手話を学びましょう～
<https://hyogo-ch.jp/video/210/>

-
- ② 障害者が作るお菓子コンテスト「第13回スイーツ甲子園」
～グランプリは「TAMBA MAGOKORO JAM」!～
-

障害者が作るお菓子のコンテスト「スイーツ甲子園」を11月15日に開催しました。各事業所によるプレゼンテーションを踏まえ、各方面の専門家から味や原材料、パッケージデザイン等、様々な観点から評価とアドバイスをいただきました。

第13回のグランプリに輝いたのは、

兵庫県社会福祉事業団 丹南精明園(丹波篠山市西古佐)の「TAMBA MAGOKORO JAM(イチゴ、ミルク、イチジク)」です。

patisserie AKITO オーナーシェフの田中哲人氏の指導のもと、同法人の就労継続支援B型事業所「丹波まごころファーム」で栽培したイチゴを使用した「イチゴジャム」、地元の牛乳を使用した「ミルクジャム」、兵庫県産いちじくを使用した「いちじくジャム」の3種類。新鮮食材を贅沢に使った上質なジャムです。他のエントリー商品も含めて、ぜひご賞味ください。

■他のエントリー商品やコンテスト詳細は、こちらをご覧ください。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/documents/20211117_9047_1.pdf

③【手話カフェ】～みんな一緒に音楽を楽しむために～ わくわくオーケストラ教室の試み

県立芸術文化センターでは、2006年から、子どもたちの生のオーケストラ音楽に触れる豊かな芸術体験の機会として、毎年「青少年芸術体験事業～わくわくオーケストラ教室～」を開催し、県内の全公立中学1年生が鑑賞しています。

県内には、インクルーシブ教育の流れを受けて補聴機器をつけながら地域の中学校に通っている生徒がたくさんいて、そのような生徒ももちろん「わくわくオーケストラ教室」に来ています。

聴覚障害の生徒の多くは、電波を受信できる機能のある補聴機器をつけて生活しており、学校では送信機(マイク)を通して先生や友達の声聞く方法を使っていることが多いです。今年、聴覚障害の生徒がいる中学校から、生徒自身の補聴機器をそのまま使って、オーケストラの音を聞こえるようにできないかという相談がありました。

もちろん同センターには「骨伝導型補聴システム」があります。しかしこれは外耳や中耳に障害があって聞こえにくい人向けです。生徒は

先天性の聴覚障害が多く、そのほとんどは内耳に障害がある感音性難聴ですので、同システムではあまり効果が期待できませんでした。

そこで同センターは、高性能な送信機を利用し、オーケストラの音を生徒の補聴器に直接届けるという新たな方法をとりました。今回の試みは、内耳に障害のある感音性難聴の方も楽しめる選択肢のひとつとして今後期待できます。

聴こえない方が音楽を楽しむために、風船のようなボール状の物を抱いて音楽を振動として感じる、光の効果でリズムを感じる、舞台上にセリフが字幕で流れるなど、少しずつですが、芸術を楽しめる環境の工夫がされるようになってきました。音楽や映画、演劇も「わからないから」「聞こえないから」とあきらめることがないよう、誰もが楽しめるようになるといいですね。 （兵庫県設置手話通訳者）

④ 聴覚に障害のある方の鑑賞を字幕でサポート！

ピッコロ劇団ファミリー劇場 12/25～26

「グリム兄弟！～みんなのメルヘン きかせてダンケ～」

ピッコロ劇団ファミリー劇場「グリム兄弟！～みんなのメルヘン きかせてダンケ～」は、聞こえない方や聞こえにくい方にも舞台を楽しんでいただけるよう、セリフや音の情報を、舞台の両サイドに字幕で表示して上演します。ダンスや色とりどりの衣裳など、視覚的にも楽しいお芝居です。お芝居のライブ感をどうぞお楽しみください。

※全3回公演のうち、25日(土)15時公演のみ字幕付き

■公演

兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場

「グリム兄弟！～みんなのメルヘン きかせてダンケ～」

作:早船聡 演出:平井久美子 音楽:園田容子

◇ものがたり

舞台はドイツ、グリム兄弟(ヤーコプとヴィルヘルム)の故郷。広場にたつ兄弟の銅像の前に、独りぼっちな少女がやってくる。童話を聞いたことのない少女は銅像が広げている本を読もうとするが、涙を落として去っていく。かわいそうに思った、グリム兄弟の銅像が少女を追うように動き出す。メルヘンの旅に出たグリム兄弟の前に、〈グレートル〉〈白雪姫〉〈ブレーメンの音楽隊〉など、グリム童話のお馴染みのキャラクターたちが勢ぞろいして…

◇公演日程 2021年12月25日(土)15時 ★字幕付き上演
26日(日)11時・15時

◇会場 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町 2-22

◇料金 一般3,000円、高校生以下1,500円、セット券4,000円

■お申し込み・お問合せ先

必要事項〔①氏名 ②住所 ③連絡先(FAX・メールアドレス) ④チケット種別 ⑤枚数〕を記載し、タイトルを「鑑賞サポート」にして、下記までお申し込みください。

◇ピッコロ劇団 鑑賞サポート係 (担当:古川・新倉)
電話 06-6426-1940 FAX06-6426-1943
メール:gekidan-p@hyogo-arts.or.jp

■公演詳細はこちら

<https://piccolo-theater.jp/event/9226/>

⑤「兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展」の
作品募集中 (出品の申込 1/17まで)

第17回兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展を来年2月に開催します。そこで、公募展で展示する作品を募集しますので、

出品を希望される方は、令和4年1月17日までに県ユニバーサル推進課へお申し込みください。

◇開催期間 令和4年2月18日(金)～2月20日(日)

◇会場 兵庫県立美術館 ギャラリー棟3階 ギャラリー
(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1)

◇募集作品 絵画、書道、写真、工芸・その他(彫塑、立体作品、CGアート等) ※ 手芸、魚拓、珍木、盆石は除く。

◇応募資格 県内に在住する障害のある方

■応募方法

出品したい方は、募集要項をお読みいただき、申込書を県ユニバーサル推進課へ令和4年1月17日(月)までにご提出ください。福祉施設入所者及び学校等通学者(児)は、それぞれの所属でまとめて、出品の申し込みをしてください。

◇募集要項・申込書はこちら

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_000000009.html

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター

(兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

⑥ ひょうご女性サポートホットライン～ここふれ～

誰に相談したらいいかわからず、困っていませんか？

今年5月に県が開設した「ひょうご女性サポートホットライン～ここふれ～」をご存じですか？

「ここふれ」では、新型コロナウイルス感染症の影響などによる様々な不安や悩みをかかえている女性の相談をお受けしています。お仕

事やお金のことなど日常生活での不安についてお話をお伺いし、気持ち持が少しでも軽くなるようお手伝いします。

匿名で相談可能です。秘密は厳守します。
ひとりで悩まず、ご相談ください。

- ひょうご女性サポートホットライン～ここふれ～
女性のための電話相談 0120 - 62 - 3588
毎週火～土曜日 9:00～12:00・13:00～16:00(祝祭日、
12/28～1/3を除く)※女性の相談員が対応します。

- 「ここふれ」HPはこちら <http://cocofure.com/>

聴こえない方・聴こえにくい方は、SNSでの相談もあります。
「こころちゃっと」で検索してください。

- ひょうご女性サポート SNS～こころちゃっと～
毎週火～土曜 10:00～13:00(祝祭日、12/28～1/3を除く)
※女性の相談員が対応します。

- 「こころちゃっと」HPはこちら <https://cocorochat.com/>

⑦ 「兵庫県障害者アートギャラリー」12月の催し

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、12月24日(金)まで「どりー夢特別作品展 Space～こころの居場所～」を開催しています。

総勢30人で描いたパステル画で表題作の「Space～こころの居場所～」をはじめ、ショーケースいっぱい並ぶ粘土細工の「街並み」、細かい仕掛けがたくさんある大きな立体作品「この木、何の

木??」など、ふと作品の世界に引き込まれるような展示が揃いました。障害のある方々が、様々な表現手段を使い、自由な発想で描いた豊かな作品をどうぞご鑑賞ください。

■「どリー夢特別作品展 Space～こころの居場所～」

好評開催中です。

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2235>

⑧ ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

11月放送内容

■11月16日の放送内容

<ゲスト> 加古川認知症の人と家族・サポーターの会(通称「加古川元気会」)代表 岡田義則(おかだ・よしのり)さん
会員 原戸和代(はらと・かずよ)さん

<テーマ>「認知症の人も安心して暮らせるまちへ」

「加古川元気会」は、認知症に関する勉強会や、「認知症」に関する悩みを話し合ったり情報を共有しあうコミュニティの場として活動している団体です。

加古川元気会にはテーマソングがあり、スタジオで岡田さんと原戸さんのお二人に歌っていただきました。「大丈夫、ひとりじゃない」という歌詞に、勇気づけられる人も多いはず。下記のラジトピに録音を載せていますので、ぜひお聴きください。

会員の原戸さんも、加古川元気会に入ってから、同じように介護に奮闘している仲間や、何でも相談できる先輩がいるので心強く、不安がなくなったといいます。そしてまず一番に、介護する人が元気で明るく過ごさなければ、当事者も元気で過ごせないと、実感されているそうです。

代表の岡田さんは、「認知症が疑われたり、発症が分かったときは、ひとりで悩まず、すぐに地域や周りの人に発信してほしい。寄り添える仲間がいますから。」と語りかけます。

また、私たちに向けて、「認知症は病気です。認知症を理解することで見え方、やり方が変わってきます。気軽に私たちの講演会などに参加してください。地域の皆さまの温かい手が、何より有り難いです。」と話しました。

番組後半は、豊岡市日高町にある「就労継続支援 B 型事業所 そら」が販売している「バイクドチーズケーキ」をご紹介します。味はプレーンと、地元但馬の野菜を使った紅芋と白カボチャの3種類。「紅芋とチーズが合っている！」とスタジオの皆さんに好評でした。

■詳しい放送内容は、ラジオ関西「ラジトピ」をご覧ください。記事と録音でお楽しみいただけます。

<https://jocr.jp/raditopi/2021/12/08/401910/>

■次回のラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

12月21日(火)15時20分～15時40分

(ラジオ関西「PUSH！」内)

テーマは「人権文化をすすめる県民運動」(予定)です。

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで
兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail:universal@pref.hyogo.lg.jp
